

大阪急性期・総合医療センター 脳神経外科 患者様向け無料説明会のご案内

当センター脳神経外科では、

DBS: パーキンソン病、本態性振戦、
ジストニアに対する脳深部刺激術

ITB: 痙縮に対するバクロフェン髄注療法

SCS: 慢性の痛みに対する脊髄刺激療法

などの手術(機能外科手術といいます)を実施しております。

これらの治療について、患者様やご家族に向けた説明会を定期開催しております。

「手術に興味があるので詳細を知りたい」
「内科の先生から手術を勧められたけど、すこし不安」
「自分が、これらの手術の対象かわからない」
「選択肢の一つとして、話を聞いておきたい」 など、
様々な相談をお受けします。



約20分間の説明に続いて質疑応答を設けます。

紹介状は不要です。

当センターにかかったことがなくても大丈夫です。

お気軽にご参加ください。

家族のみの参加も可能です。

講師: 脳神経外科 機能外科担当医

八重垣 貴英、山本 祥太、田中 伯

日程: 原則、毎月第3木曜日(例外あり、お問い合わせください)

場所: 本館2階 脳神経外科外来

費用: 無料

※予約制です。かならず事前にご連絡ください。

【時間割】

10:00～ DBS(パーキンソン病・本態性振戦・ジストニアへの脳深部刺激術)

11:00～ SCS(慢性の痛みに対する脊髄刺激療法)

12:00～ ITB(痙縮に対するバクロフェン髄腔内投与療法)

お申込み・お問い合わせ

大阪急性期・総合医療センター

〒558-8558

大阪府大阪市住吉区万代東3丁目1番56号

TEL: 06-6692-1201 (代表)

「脳外科外来へ」と伝えてください

(外来予約受付、診療日9:00～16:00)



お知らせ

新型コロナウイルス感染の状況を鑑み、個別相談会の形式を取っておりましたが、5類移行となった2024年4月より、より多くの方に参加いただけるよう団体説明会へと戻させていただきます。開催形式は変わりますが、それぞれの質問には従来通り丁寧にお答えさせていただきますので、奮ってご参加ください。

以下のお悩みに心当たりがあれば、ご参加をおすすめします

DBS(パーキンソン病・本態性振戦・ジストニアへの脳深部刺激術)



(詳細はこちら)

- パーキンソン病に対する治療を受けているが、薬を1日5回以上服用していて、症状も安定しない
- 薬はよく効くが、副作用が多い
- ジストニア・本態性振戦・斜頸と診断されたが、薬があまり効かない
- 診断されて間もないが、今後のために手術療法についても聞いておきたい



ITB(痙縮に対するバクロフェン髄腔内投与療法)



(詳細はこちら)

- 脳や脊髄の病気のあと、麻痺になった部分がこわばるようになってきた
- 締めつけ感や痛みが強い
- こわばりのせいで、介護やリハビリが困難
- 足を伸ばして眠れない、褥瘡がしやすい
- ボトックス治療を受けているが、効果が不十分



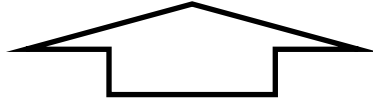
SCS(慢性の痛みに対する脊髄刺激療法)



(詳細はこちら)

- 脊椎・脊髄疾患及び末梢血管障害による痛みが持続している
- CRPS(RSD/カウザルギー)や術後疼痛で悩んでいる
- 手、足、腰、背中などの痛みがひどく、薬を飲んでも改善しない





FAX送信方向

大阪急性期・総合医療センター：06-6606-7000

脳神経外科 患者様向け無料説明会 申込書

お名前 : 本人 _____ 家族 _____

参加人数 : _____ 人 通院先: _____

電話番号 : _____
(折り返し連絡しますので必ずご記入ください)

- 参加項目
- 10:00～ DBS(脳深部刺激術)
 - 11:00～ SCS(慢性疼痛に対する脊髄刺激療法)
 - 12:00～ ITB(バクロフェン髄腔内投与療法)

- 希望日程
- できるだけ早い日程で参加したい
 - 都合の悪い月がある(_____)

※ほぼ毎月第3木曜日に開催しています(例外あり)

※定員の都合上、ご希望に添えない場合がありますのでご容赦ください

- 質問内容
- ※当日は質疑応答時間を長く取りますが
 - 要望 あらかじめ聞きたいこと等ございましたら
 - その他 ご自由にご記入ください

※このFAXを受信したら、脳神経外科秘書までご連絡ください